

応募
方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。
毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇 岩崎聰之介 選

ダム^{だむ}の入り江^{いりえ}渡る橋のいくつあるや此れ大梁^{おほやぐ}
川橋^{がわはし} 隈^{くま}のみどりよ 寺崎 悦子
何でだかむんつけて帰ったお客さまお好きな
酒肴^{しゅくわん}で今晚も待つ 我妻美智子
曲^{まが}がった腰も一瞬^{ひとしげ}伸びるかボウリング忘れてい
たっけ青春爆発 星 明
野の花の蜜あつめんと飛ぶ蜂ら朝から羽音^{はねおと}コー
ラスとなる 菊地せつ子
繁茂^{はんも}するドクダミ^{どくだみ}抜けば根は深くこれだから根^ね
くらべこれからもせむ 末吉アツ子
うっかりして通り過ぎたわ何処^{どこ}ゆく気最近ある
のよこんな事など 村上八重子
たんぽぽの丸いふわふわ宇宙船^{うちゅうせん}川原^{かわはら}子^こロード越
えて飛んでく 木村 芳香
スーパ^{すーぱー}ーはきょうも満車の特売日^{とくばい}シルバーマ^まー
クがずらりと並ぶ 佐藤 啓子
ま直ぐ伸^{のび}び河原^{かはら}なでしこ咲かす庭はなの桃色^{ももいろ}家
族^{かぞ}々^々称^{なづ}う 阿部^{あべ}かつみ
樹々^{きくく}ひかり若葉^{わがは}萌^もえたる時過ぎてばれいしよ畑^{はたけ}
に白き花^{はな}見る 後藤今朝雄
【評】一首目、移りゆく景、一二三号からだ。入り江の
奥まった辺りに見惚れる作者。説明調になりがちな
ところを避けていいい。
二首目、詠語^{ぎよご}むんづけるが柔らかな仕上げ。今晚
こそと、御出^{ごで}でを待つママ、優しい。
三首目、今し老いが、爽快、かの青春をとり戻し
ているところ。臨場感を演出。

俳壇 山家弘子 選

お隣に回覧板をサングラス
梅花藻^{ばいかそう}を潜りて泳ぎをる緋鯉^{ひこ}
行き来する傘も七色紫陽花^{しちしきしやうが}路
若葉風^{わがはふう}駅までの坂十五分
菊地せつ子
山田 もも
佐藤 隆志
平間 幸恵

柳壇 四竈英夫 選

釣り終えて杣道^{もみち}までの草いきれ
夏の月園児^{えんぎ}の指さす先にあり
青葉風^{あおはな}吹きたりきて一と休み
夕暮^{ゆぐ}の植田^{うゑだ}きらめく水面^{すいめん}かな
山吹^{やまぶき}のほろほろと散る水面^{すいめん}かな
とりどりの傘の花咲く走り梅雨
【評】一句目、歩いて数分の隣に回覧板を持って行かぬ
ばとサングラスをかける。何とも言えないユーモア
がある。
二句目、清流にしか咲かない梅花藻は我が御城下
のお濠^{おゑ}に自生^{じせい}している。梅花藻と緋鯉の色の美しさ
に見惚れてしまう。
三句目、梅雨に入り一段と紫陽花が美しくなった。
その道を色とりどりの傘が行き交う。梅雨ならではの
景。

片付けも二人合せて半人前
詐欺^{さぎ}と熊^{くま}今日もニュースの一番目
令和^{れいわ}でも長い手紙を書いてみる
街の中歩く熊等のニュース増え
熊鈴^{くまね}を鳴らして歩く過疎^{かそ}の里
百体^{ひゃくたい}（体操）を和気あいあいでもう八年
喜寿祝^{きじゅ}う息子に嫁や初孫^{はつそ}だ
呼ぶようなうぐいす彼方^{かなた}優し声
氣候変動^{きこうへんどう}お空も政変^{せいへん}ありしかな
猫日課^{ねにに}堀^{ほり}の細道^{ほそみち}うううと
末吉アツ子
佐藤 啓子
平間 大恵
遠藤 松雄
菊地せつ子
志村かつい
星 明
菊川いつ子
大庭美智子
村上八重子

【評】一句目、片付けが出来ると言うことは頭の中の整
理も出来る証拠。片付けは半人前でも食べることは
三人前という人もいます。
二句目、クマの出没もさることながら、詐欺の
ニュースも無くならない。「石川や浜の真砂は尽きる
とも世に盗人の種は尽きまじ」……。
三句目、ラインやメールの普及で手紙を書くこと
が激減。手書きの手紙をもらったら感激するのは
ないだろうか。長い手紙ならなお更。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～まだ知らない地元農産物の魅力を届けたい～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物
直売所情報▶



毎年好評！ 夏の味覚「ピュアホワイト」

白いトウモロコシ「ピュアホワイト」は、白石のブランド野菜「白石三白野菜」のひとつで、糖度が高く、メロン並みの甘さが魅力です。皮が薄いため、生のまま食べるとシャキシャキとした食感を楽しむことができます。また、ゆでても焼いてもおいしく召し上がれます。おもしろい市場で販売していますので、ぜひご賞味ください！
※天候により、収穫量が少ない場合があります。詳しくはおもしろい市場（☎0224-26-9778）までお問い合わせください。



☎農林課 ☎22-1253

皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン



▲認知症の方への思いやりについて学ぶ児童たち

認知症の方への接し方を学ぶ
認知症サポーター養成講座

7月14日、白川小学校で「認知症サポーター養成講座」を行い、3・4年生10人が参加しました。児童たちは認知症の原因や特徴について学んだほか、寸劇や絵本の読み聞かせを通して認知症の方への適切な接し方を学習。認知症の方をやさしく見守り、困っているときに手を差し伸べることの大切さを学ぶ機会となりました。



▲虹色に見える光の仕組みに興味津々の園児たち

光の不思議を体験！
ソニーものづくり教室「虹色きらきらスコープ」

7月16日、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社によるものづくり教室が開かれ、北保育園の5歳児6人が参加。この教室は、子どもたちの科学への興味・関心を育むことを目的に開催されています。今回は、分光シートを使ったスコープづくりを通して、光の不思議や科学の楽しさに触れました。

※【お詫びと訂正】令和8年7月号に掲載しました白石はるかぜこども園の名称について記載の誤りがありました。次のとおり訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。（誤）白石はるかぜ保育園 → （正）白石はるかぜこども園



▲家内安全や五穀豊穡を願い一射一射に思いを込める

地域に息づく伝統行事
市指定民俗文化財「小原の百矢納め」

6月30日、小原公民館で小原弓道愛好会による百矢納めが行われました。これは、家内安全や五穀豊穡などを祈願し、矢を射て神社に奉納する小原地区の伝統行事です。当日は、小原中学校の生徒2人も授業の一環として参加。通算100本の矢が的に当たるまで奉射を続け、地域に受け継がれる伝統文化への理解を深めました。



▲紙芝居で楽しみながら学ぶ園児たち

地球にやさしい行動を学ぼう
紙芝居「ころころまるとさがすちきゅうにいいこと」

7月15日、白石はるかぜこども園で、東北農政局によるおはなし会が開催されました。この取り組みは、将来を担う子どもたちが、身近なところから地球にやさしい行動について考えるきっかけづくりを目的として行われ、紙芝居の読み聞かせやクイズを実施。園児たちは楽しみながら、地球にやさしい行動について学びました。